

平成30年11月20日

台湾・財団法人中央畜産会との定期情報交換会の概要について

独立行政法人農畜産業振興機構

このたび、独立行政法人農畜産業振興機構（ALIC）は、台湾・財団法人中央畜産会（NAIF）と定期情報交換会を開催しました。本会議は、日本および台湾の畜産をめぐる情勢等について意見交換を行う場として、原則として毎年度交互に開催しており、今回で9回目となります。

1 日 時：平成30年11月13日(火) 9時30分～15時00分

2 場 所：台湾行政院農業委員会 会議室

3 出席者

NAIF：黄金城（董事長）、邱創進（執行長）、王旭昌（副執行長）
姚量議（副執行長）ほか

ALIC：佐藤一雄（理事長）、山田理（調査情報部長）ほか

4 主要議題と概要

佐藤理事長と黄董事長の挨拶の後、以下の議題について説明後、意見を交換した。

- (1) 「日本の豚肉および鶏肉の消費動向」、「肉用牛・養豚の経営安定対策」
 - ・ ALICから、(1) について説明。
 - ・ NAIFからは、特に台湾から日本への鶏肉の輸出可能性について関心が示された。
- (2) 「台湾の飼料の需給動向」
 - ・ NAIFから、(2) について説明。
 - ・ ALICからは、飼料原料高騰時の対策などについて、見解を聴取。

— お問い合わせ先 —
調査情報部国際調査グループ
担当者 露木・三原
電話 03-3583-9534
FAX 03-3584-1246